

# 肩バラ号

第214号

発行日：令和3年11月1日  
発行者：医療法人 博愛会  
福田脳神経外科病院 新聞部

## 診察室から

院長 福田 雄高

### 高齢者の頭部外傷

#### 特に血のサラサラの薬を飲んでいる場合

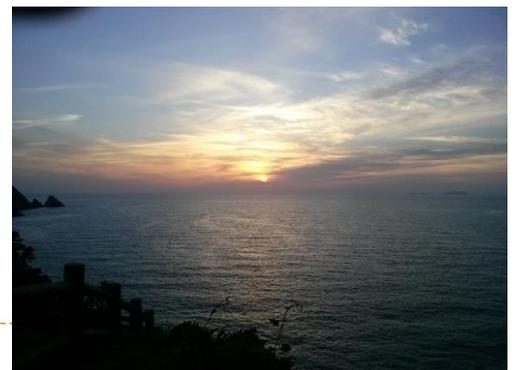
脳梗塞再発を予防するためには血のサラサラの薬（抗血栓薬）が重要ですが、お薬を飲む際の代表的な副作用に出血（消化管出血や脳出血）があります。特に高齢になると、脳梗塞だけでなく、脳梗塞を発症しやすい不整脈である心房細動になったり、あるいは心筋梗塞や狭心症を来し、抗血栓薬を飲み続けている人は増えています。

さらに年々、当院でも明らかに増加しているのは、高齢の方の転倒に伴う頭部打撲です。いわゆる佐賀弁で“ケーマツレテ”、頭を“ウッタクッタ”方が、“ガバイ”増えています。特に血のサラサラの薬を飲んでいる方の、頭部打撲による外傷性頭蓋内出血は非常に問題であると感じます。現在、重症になる頭部外傷の方の実に半分以上が高齢者（65歳以上）であり、最も多い原因は“ケーマツル”ことであることがわかっています。

高齢者の方では、脳の萎縮により、脳と骨との間のすきまが、若い人と比較して広がっており、出血しやすくなっています。また、小さな出血では症状を来しにくく、怪我してすぐは、異変に気づきにくいという特徴があります。ちょっとした頭部打撲でも重症になりやすく、受傷直後には普通に会話ができても、しばらくしてから突然に重症になることが問題となっています。

高齢の方で、特に血のサラサラの薬を飲んでいる方は、転んで頭を打っても会話ができるからと自宅で様子を見ることは危険です。受傷後はできることなら早く画像検査、診断を行い、出血を認めた場合は厳重観察や治療を行うことが重要です。

また、本当に血のサラサラの薬が必要なのか、必要性を上回る危険性がないのか、不要なのに血のサラサラの薬を2種類も3種類も内服していることはないか、また年齢や腎臓の機能、あるいは転倒の危険性を考慮して、お薬を、本人も、家族も、そして主治医、薬剤師、看護、介護に関わる方など、皆で認識して内服する必要があるものと考えます。



島の夕暮れ、沈む夕日

“Cuando el sol se pone, ninguna vela puede reemplazarlo.

（夕日が沈むひとときは、どんな蝋燭もそれに代わることはできない）

夕日は、乾燥し肌寒くなったこの季節が尚良いと感じます。

# インフルエンザについて



## ～公費インフルエンザ予防接種についてのお知らせ～

参加市町： 県内すべての市町

対象者： ①65歳以上の方（接種日時点で65歳になっている方）  
②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器や  
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある方  
（身体障害者手帳1級程度）

※②の方は、証明する書類が必要です。医療機関窓口にご相談下さい。

実施期間： 令和3年10月1日（金）～令和3年12月31日（金）

接種回数： 1回

接種料金： 500円～1,500円（各市町によって異なります）  
上記以外の方は3,500円で接種いたします。  
ただし、生活保護世帯で上記対象者①②に該当する方は無料※

（※生活保護世帯の方は、佐賀市生活福祉課で  
発行する予診票をご持参ください。）

申し込み： 直接医療機関へ申し込みください。  
接種当日は健康保険証をご持参ください。

## ～当院でのインフルエンザ予防接種について～

今年はインフルエンザワクチンの確保が難しく、  
対象者を当院かかりつけの患者様ご本人のみに限らせて  
いただきます。

実施期間： 令和3年10月18日（月）～ 確保分終了まで

※予約制ではありませんので希望する方は早めにお声かけ下さい



★詳しくはスタッフまでお尋ね下さい。

コロナワクチン接種前後の方は期間を2週間あけましょう



# C W ケアワーカー便り



C ちゃんと W わかりやすく ～入浴介助編～

看護部 ケアワーカー K, M

私達ケアワーカーは、患者様の日常生活をサポートする職業です。

その中から今回は、入浴介助についてお話しします。

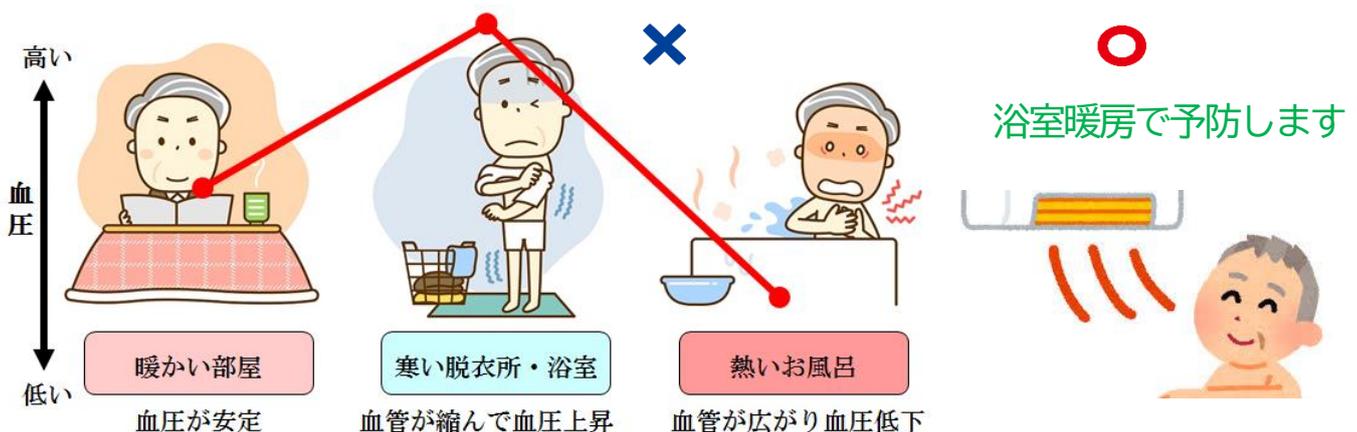
入浴は、身体の清潔を保つためだけでなく、疲労回復、快眠など心身の健康のために大きな効果があります。その反面、転倒事故や脳血管障害などが起こりやすい、危険との隣り合わせであるため見守りを含めて大いに警戒しなければなりません。

また、介助時には、安全確保のほかに自立支援、プライバシーの保護、全身状態の観察という視点も大切です。

洗身、洗髪など自分でできることはやってもらうように声かけをし、患者様自身が無理のない範囲で、自立を支援します。

これからの寒い季節の入浴で特に注意しなければならないことはヒートショックです。ヒートショックとは、暖かい場所から寒い場所への移動などによる急激な温度変化によって、血圧が大きく変動することで、失神や、心筋梗塞、脳梗塞など身体への影響を及ぼすことをいいます。

当院ではその温度変化を軽減するために浴室暖房を完備し、より良い入浴ができ、入院中の気分転換になり、少しでもストレスが解消されるように、コミュニケーションを取りながら入浴介助を行っております。





## 理学療法士コーナー



### ～お尻上げ体操～

回数：各5回×1～3セット

あおむけに寝て、両膝を立てます。

お尻を持ち上げ、息をゆっくり吐きながら  
5秒数えたら、ゆっくりお尻をおろします。

注意点：息は止めずに、ゆっくり呼吸して下さい。

**効果：立ち上がりに必要な下肢筋力が鍛えられます。**



#### 体操の際の注意点

- ・痛みのない範囲で行いましょう
- ・体調不良や痛みが出る場合は中止し、医師の判断を仰ぎましょう
- ・体操の回数は目安です

紹介します



## スタッフ紹介リレー



お題：「私の好きなもの・好きなこと」  
今回は事務の A, H さんの紹介です。

私が好きなことは息子のバレーボール観戦です。

私には息子が3人いますが、2人がバレーボールをしており今はコロナの影響で応援で声は出せませんが、いいプレーが出ると思わず声が出そうになります。保護者全員で拍手などで盛り上がり、次の日腕が筋肉痛になることも(笑) これからもできる限り頑張ってもらいたいです。



次回は管理栄養士の  
N さんです。  
おたのしみに！